

自然教室レポート 1

天候にも恵まれ、すべての行程を無事にやり遂げることができました。

朝の出発式では、4 組室長の林葵衣さんから「2 日間仲間を大切に、普段話さない人とも互いに支え合っていきましょう」とのあいさつがありました。校長先生からは、「コロナウィルスの感染予防にみんなが自覚して、ルールを守り、達成感の味わえる自然教室にしましょう」と言われました。

自然の家に到着後、入所式で職員の方から、「自然の中で自分を磨き、仲間の輪を広げよう」との言葉をもらい、最初の活動である、ウォークラリーがスタートしました。



ウォークラリー出発前に話を聞く

クラス単位で 2 つのコースに分かれて、それぞれの班が 2 分の間をおいて、自然の家を出発し、ふれあい牧場まで向かいました。途中、道に迷ったり、男女がバラバラになるなど班行動が乱れたりしたところが見られました。到着時間に大幅に遅れた班もありました。ルールを守れなかったのは残念でした。また自然の家に戻った後の集会では、和田先生から、道の真ん中に石ころや枝がたくさん落とされていたことも指摘されました。そのあと、ルールを守れなかった班の班長は立つように言うと、20 人近い班長が立ち上がったのにはびっくりしました。



くりこぎりで穴をあけている様子

創作活動ではウォークラリーで拾った木の枝を加工して、スプーンの柄の部分を作りました。のこぎりで切ったり、小刀で削ったりしました。最後はくりこぎりでスプーンを入れる穴をあけるのですが、拾ってきた枝が細すぎて、穴をあけたときに割れてしまう人も何人かいました。それぞれ思い思いの作品に仕上がりました。そのスプーンは、夜のレクリエーションと翌日のカレーライスを食べるときに使う予定になっていました。



落ちるなあ～

入浴と夕食を済ませ、体育館に集まり、本日最後の活動は、室長会主催のレクリエーションでした。【クラスで協力して勝利をつかめオトスナ】、【シャベルナ伝言ゲーム】が準備されていました。2 つとも各クラス 1 列に並び、リレー形式で行いました。オトスナでは、その日に作ったスプーンでピンポン玉をリレーしました。意外と難しかったようです。ちなみに 1 位は 3 組でした。



わかるかなあ～ 答えはどこかに・・・

続くシャベルナでは、示されたお題をジェスチャーで伝えていくゲームでした。しゃべるな！ということで、ここでも感染予防が徹底されていました(笑)。

クラス別で行ったのですが、1 番目は 5 組でした。お題は“おでん”。さすがに困りましたね。「おでんをジェスチャー?!」なんて・・・。多くの人が、マル・サンカク・シカクを表現していましたが、5 組の人は大変だったでしょう。1 位は 6 組。お題は“木”でした。左の写真はその一例です。

室長の 12 名は、事前の準備に始まり、当日の司会や進行、実況に至るまで大いに盛り上げてくれました。本当ご苦労様でした。 《つづく》